

第3回 被爆二世の体験を聞く会

長崎県被爆二世の会では、会長の丸尾育朗さんがガンを再発し、抗ガン剤治療を始めたことをきっかけに、「被爆二世の体験を聞く会」を始めました。3回目となる今回は、丸尾会長らとともに、長崎でも早い段階から被爆二世運動にかかわり、全国被爆二世団体連絡協議会の会長も務めた、開彰人さん（72歳）からお話を伺います。



開彰人さん

開さんのお母さん、お祖母さん、二人のお兄さんが長与町で被爆しました。現在は、福岡市在住のお兄さん（82歳）だけがご存命だそうです。お兄さんは、落下傘とともに原爆が投下されるところから爆発までを実際に目撃したそうです。そして、「黒い雨」が降ったというよりも、霧のような黒い斑点がたくさん体に付いたことを覚えているそうです。

被爆二世として生きてきた開さんの思いや体験を聞かせて頂き、記憶にとどめるとともに、今後の活動に活かしていきたいと思います。

日 時 : 2022年5月15日（日）14時 ～ 16時

場 所 : 長崎県勤労福祉会館 3階 大会議室

証言者 : 開彰人さん（元全国被爆二世団体連絡協議会会長）

* 会場では、新型コロナ感染防止対策のため、手指消毒とマスクの着用などにご協力ください。

主 催 : 長崎県被爆二世の会

問い合わせ先：事務局長 崎山昇

携帯電話 090-2519-2066